

March/April 2020  
No.4

A News letter from SCGO-JSOG Project  
on Women's Health and Cervical Cancer

# カンボジア 女性のヘルスプロモーションを通じた 包括的子宮頸がんサービスの 質の改善プロジェクト

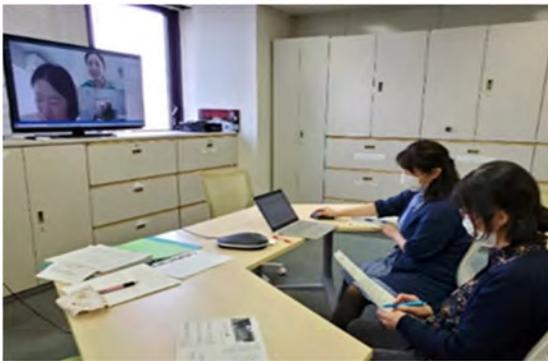
JICA 草の根技術協力事業(草の根パートナー型)

PROJECT FOR IMPROVING THE QUALITY OF  
COMPREHENSIVE SERVICES FOR CERVICAL CANCER

## Web 会議システムを活用して 現地との連絡や活動調整を行っています

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、事業進捗にも遅れが出ています(\*1)。メールや Web 会議システムを活用して、定期的に現地との協議、活動調整を行っています。

4 月は、カンボジア産婦人科学会(SCGO)カナル理事長、スン理事らと Web 会議システムを利用して会議を行い、現地における感染流行と世界的流行に伴う渡航制限により計画通りに活動を進められない中、どのようにプロジェクト活動を進めていくか、今できる活動について話し合いました。既存の SCGO ウェブサイトを活用した学会員向け産婦人科関連情報(例:妊産婦の新型コロナ感染症への対応)や一般女性向け健康教育コンテンツの充実、事業対象病院で 2016-2019 年に集められた検診データの分析について検討しました。



写真上、右: Web 会議の様子。複数箇所を繋いでの会議でしたが、円滑に進行できました。



### \*1 新型コロナウイルス感染症の世界的流行による事業進捗への影響

- 学校対象調査準備と実施の遅れ:  
3 月半ばから小学校が休校しているため、教員を対象とした健康教育に関するニーズアセスメント調査ができない。
- 日本人専門家の渡航キャンセル:  
JICA からの通知に基づき、日本人専門家の渡航は中断している。
- 現地の病院、保健医療従事者、現地調査協力機関における新型コロナウイルス感染症への対応:  
SCGO、保健省、現地調査協力機関(カンボジア国立公衆衛生院)において、新型コロナウイルス感染症対策が最優先となる為、プロジェクト活動の実施が困難。

## ～ ミニコラム ～ カンボジアの今

1月下旬に国内で初めて新型コロナウイルスに感染している男性が確認されてからも暫くは平穏な日々を送る事ができていたカンボジアですが、3月中旬に欧米人やマレーシアの宗教行事に参加していたカンボジア人の感染が次々と発覚してから街の様子が一変しました。学校が全て閉鎖され(現在も休校中)レストランやカフェも次々と営業停止になりました。4月13日からのカンボジア正月も延期され、その間に州をまたぐ移動を禁止する措置がとられました。

政府が感染拡大を警戒していたカンボジア正月から数週間経ち、幸い感染者が増えていない事から、街には少しずつ人が増え始めています。

写真下:閑散としたリバーサイド  
(4月下旬プノンペンにて撮影)



写真上:カンボジア正月期間  
の様子(独立記念塔付近)

## 第72回日本産科婦人科学会学術講演会 ソバナラ医師らによるeポスター発表

4月に東京で開催が予定されていた学術講演会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ウェブ開催に変更になりました。当初、カンボジア産婦人科学会(SCGO)メンバー3名が東京で参加する予定でしたが、来日は残念ながらキャンセルとなりました。

しかし、カンボジア国立母子保健センターのソバナラ医師とSCGOメンバーによる肩甲難産症例のeポスターは予定通り提出されました。SCGOにとっても、このような学会の開催方法は大変参考になったようです。

### SCGO事務局に新しいメンバーが加わりました



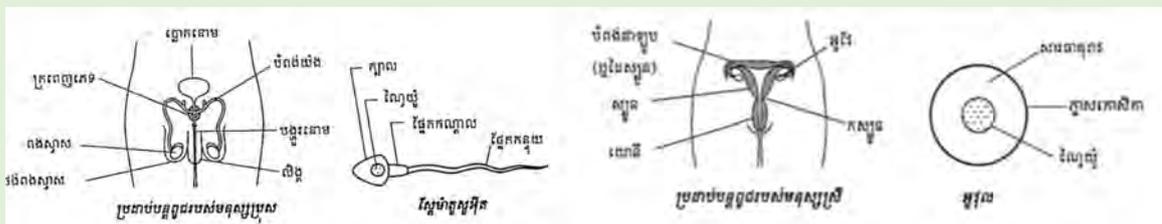
昨年末にバテイ元秘書が結婚退職をし、SCGO事務局では新しい秘書を探していました。そして巡り合ったのがスレイニック秘書(写真)です。2月下旬から勤務していますが、バテイ元秘書と同一年で雰囲気も似ているとあって、一緒に働くナレン秘書も「働きやすい」と太鼓判を押しています。平日の空き時間にはパソコンの勉強をし、週末は英語学校にも通っているとの事で、仕事と勉強を両立しながら今後一層パワフルに活躍して欲しいと思っています。宜しくお願いします！

### カンボジアの小学生が学ぶ身体や病気 -小学6年の理科の教科書から-

国立国際医療研究センター(NCGM)菊池 識乃

フェーズ2で新たに健康教育の対象になる小学校教員について情報収集するうちに、小学6年の理科の教育に、人体構造や二次性徴、性感染症について掲載されていることが分かりました。ここでは、プノンペン市内の書店で入手した、小学6年理科の教科書の内容を紹介します。教科書の構成は、単元ごとに数ページの説明(図・写真含む)があり、その内容に関する確認問題、発展問題となっています。

① 男女の生殖器官:各臓器や精子・卵子について図解されています。



② 家族計画:保健医療機関のレベルごとに受けられる避妊法が具体的に示されています。



ヘルスポスト(村レベル)

- ・ピル
- ・コンドーム

ヘルスセンター(町レベル)

- ・ピル
- ・注射
- ・コンドーム
- ・子宮内避妊器具

病院(州レベル)

- ・手術

③ 発展問題:問 4 では、イラストの中から HIV の感染経路を選ぶ問題が出題されています。



教科書の内容は、小学校 6 年生には難しいのでは？と思われる部分や、実物の写真もあり少し驚きましたが、前プロジェクト(フェーズ1)で提供してきた健康教育コンテンツと重なる部分もあり、教員向けの健康教育教材開発・改良の際のヒントが得られました。また、プロジェクトで行う健康教育を通して、小学校教員の子宮頸がんに関する理解が進み、子どもたちへの教育や、子宮頸がん啓発の普及が進むと良いなと思っています。

ここで1つ書き添えておきたいのは、理科の教科書に記載されていても、全てが子どもたちに教えられているわけではないよな点です。現地の小学校で活動する JICA 海外協力隊員からの情報によると、カンボジアの公立小学校では、理科の授業が時間割にあっても行われていなかったり、全国統一の卒業試験に出る部分しか教えられていなかったり、「理科が苦手だから」とあまり理科の授業自体をしたがらない担任の先生もいるそうです。

プロジェクトが目指す女性の健康の向上には、女性の体の構造や機能、疾患への理解が欠かせません。小学校の教員を対象とする健康教育活動が、カンボジアの女性の理解を促し、やがて子どもたちの健康向上にも波及する素敵な未来の実現を、少し先の目標に置きたいと思います。